

農村環境資源を保全し、魅力あるものにしたい

多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金）事業の活動を紹介

「農地・水」の名で継続されてきたこの事業は、農村環境を地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として実施されておりますが、水田が雨水を貯留することにより洪水被害を緩和するダム効果をはじめとした、農地の持つ多面的な機能に対しても目を向け、さらに保全活動を強固なものにしたいという考えから、多面的機能支払交付金事業と名を改め、旧制度から通算して8年目が終わろうとしております。

本町では、9つの集落が本事業に取り組み、農道の除草や水路の泥上げ等を共同で実施しており、うち5集落はコンクリート舗装やU字溝敷設といった施設の長寿命化も実施しております。

また、本事業の一環として、農村環境資源を魅力あるものにするために、農地や農道等を利用した花の植栽等の景観形成も行っています。



立野地区：県道郡停車場大須賀線沿いに、色鮮やかなペチュニアを植栽し、沿道を行き交う人目を楽しませました。



新地区：新地区から香取市へ抜ける町道沿いに、色とりどりの花を植栽し農村風景に彩りを添えました。



郡地区：大規模水田区画内の農道路肩に、コスモスを植栽しました。延々と続く花の絨毯は、鑑賞目的に訪れる来客がいたほど見事なものでした。



植房地区：植房地区では、圃場条件が悪く水稻作付が困難であった休耕田を利用して、花菖蒲などの様々な花卉を植栽し、農地を保全する活動を行っております。